

第4回大阪地区渋滞対策協議会

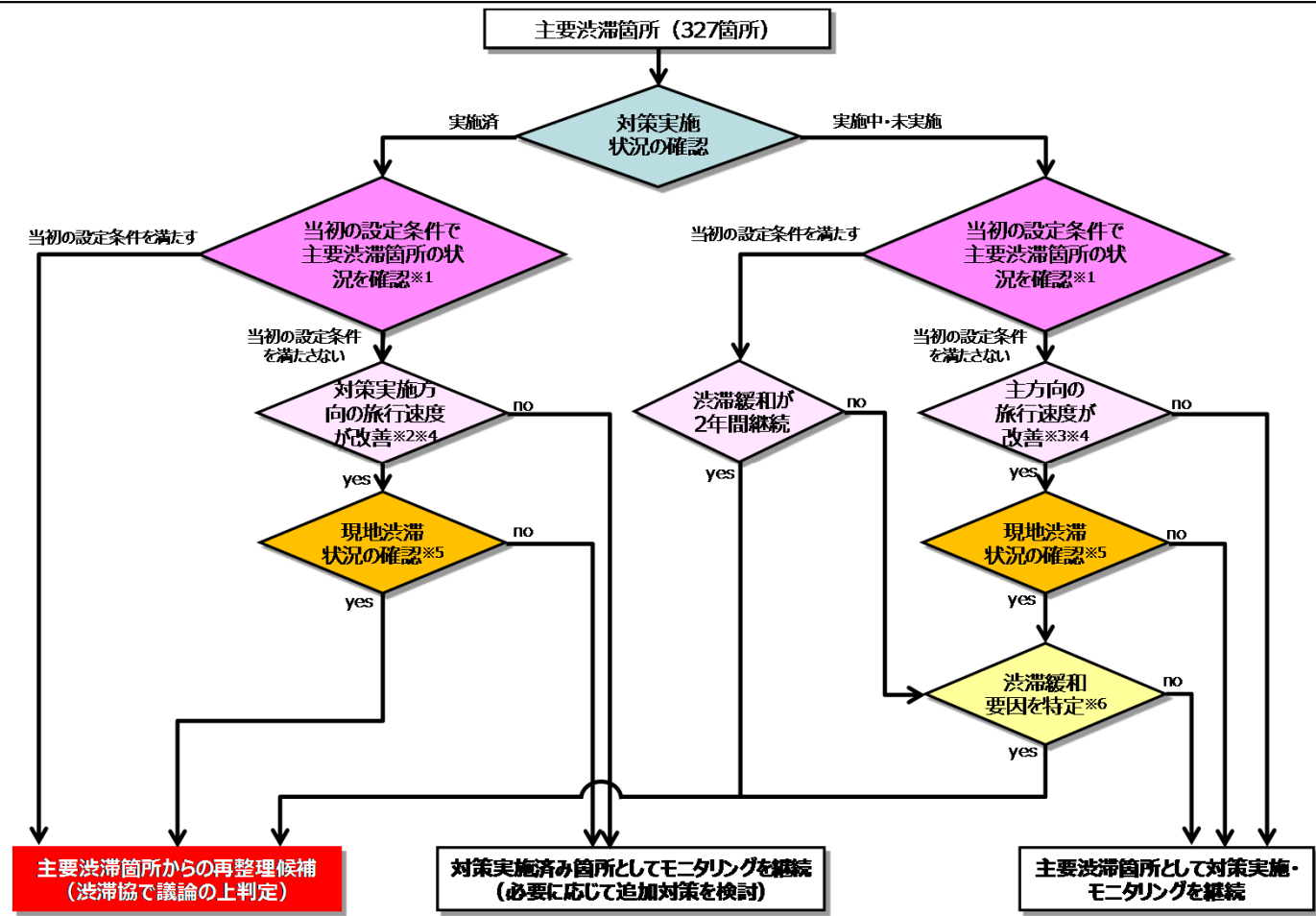
【主要渋滞箇所の確認・整理（案）】

平成29年8月4日

1. 主要渋滞箇所の再確認・整理フロー（案）

■大阪地区の主要渋滞箇所再確認・整理フロー（案）

- 主要渋滞箇所の取り組みは、H24年度に箇所を選定・公表してから、今年度で5年が経過する。
- 大阪地区では、主要渋滞箇所327箇所を選定し、これまでに28箇所に対策を実施したほか、渋滞が軽微である経過観察箇所が49箇所あるなど、渋滞対策を実施してきたこと等により、大阪地区の主要渋滞箇所における渋滞が緩和してきている。
- そこで、主要渋滞箇所327箇所に対し、対策実施状況を考慮した上で、交通ビックデータによる速度状況、現地渋滞状況等を確認し、主要渋滞箇所の再確認・整理を実施する。



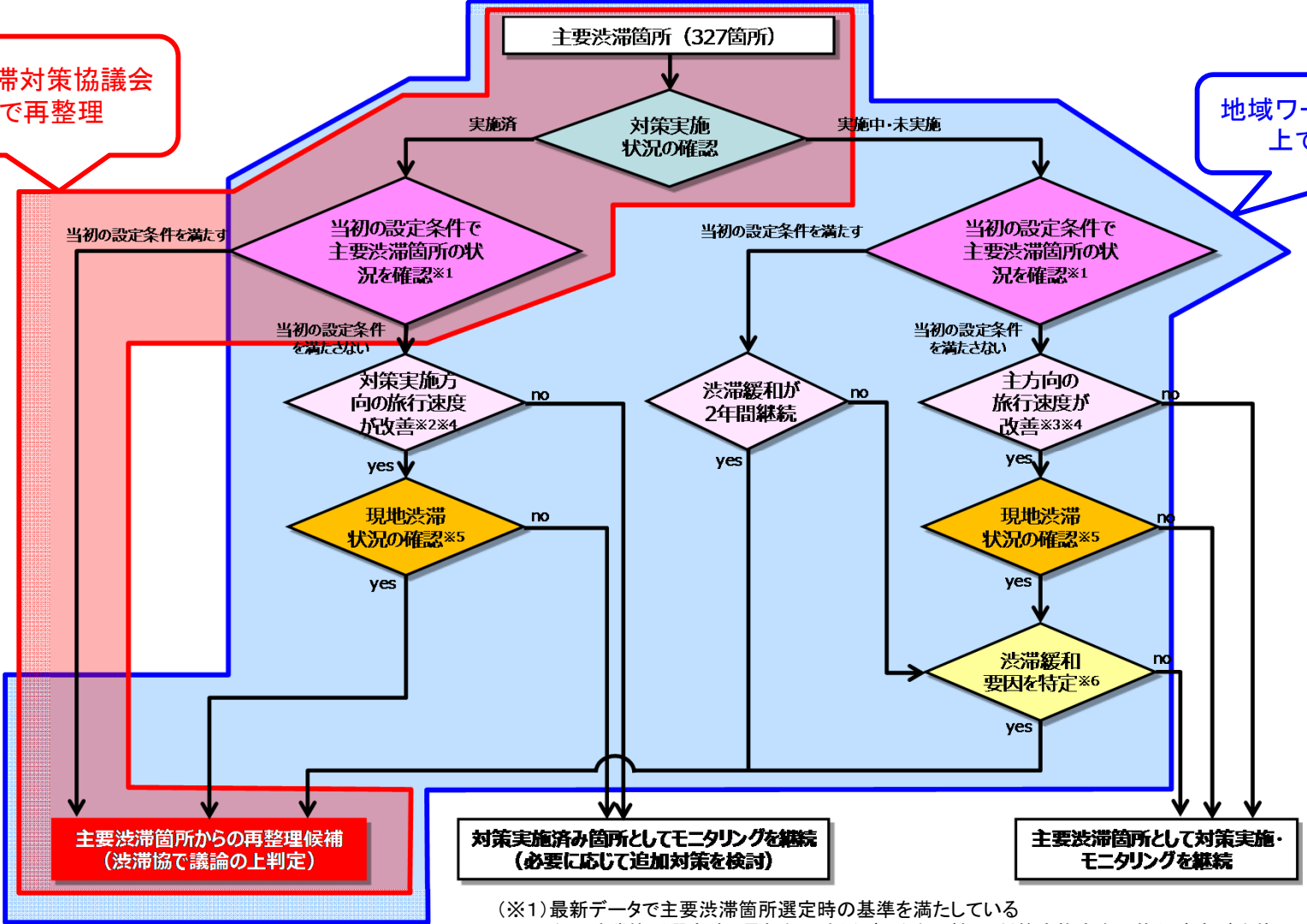
(※1) 最新データで主要渋滞箇所選定時の基準を満たしている
 (※2) 主要渋滞箇所選定時と最新年の交通データを比較し、対策実施方向の旅行速度が改善
 (※3) 主方向の旅行速度が20km/h以上
 (※4) 交差点間隔が密な場合など、リンク長が短いことによりデータ上旅行速度が低下している箇所については、現地渋滞状況を確認する
 (※5) 全方向の信号待ち回数が1回以下など個別確認（構造や青時間の関係で対策による速度向上が見込めない 等）
 (※6) 交通量の変化、周辺状況の変化等から渋滞緩和の要因を特定

2. 大阪地区における再整理候補箇所の抽出

- 主要渋滞箇所327箇所に対し、主要渋滞箇所の再確認・整理フロー(案)による判定を実施する。
- 今年度は、対策実施済みで当初の設定条件を満たす箇所を再整理の対象とする。
- また、現地渋滞状況の確認等を実施した上での再整理候補箇所については、今年度のワーキンググループ等で議論した上で次年度以降に再整理の対象とする。

第4回大阪地区渋滞対策協議会での議論の上で再整理

地域ワーキンググループで議論の上で次年度以降に再整理



(※1) 最新データで主要渋滞箇所選定時の基準を満たしている
 (※2) 主要渋滞箇所選定時と最新年の交通データを比較し、対策実施方向の旅行速度が改善
 (※3) 主方向の旅行速度が20km/h以上
 (※4) 交差点間隔が密な場合など、リンク長が短いことによりデータ上旅行速度が低下している箇所については、現地渋滞状況を確認する
 (※5) 全方向の信号待ち回数が1回以下など個別確認(構造や青時間の関係で対策による速度向上が見込めない等)
 (※6) 交通量の変化、周辺状況の変化等から渋滞緩和の要因を特定

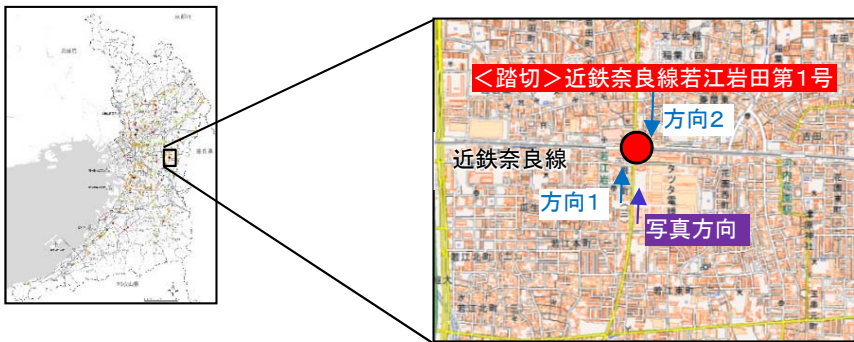
3. 主要渋滞箇所からの再整理対象箇所の検証

- 対策実施済みのうち、当初設定条件で主要渋滞箇所の状況を確認した結果、当初設定条件を満たし、渋滞が緩和している箇所は「<踏切>近鉄奈良線若江岩田第1号」となった。
- <踏切>近鉄奈良線若江岩田第1号は、H26.9に連続立体交差事業を実施し、課題となっていた踏切を除却した。また、踏切の除却により旅行速度が向上し、当初の設定条件を上回る旅行速度となった。

交差点名: <踏切>近鉄奈良線若江岩田第1号 【旅行速度変化】

選定理由: 開かずの踏切、自動車のボトルネック
踏切、歩行者のボトルネック踏切を含む区間の混雑時旅行速度が10km/h以下

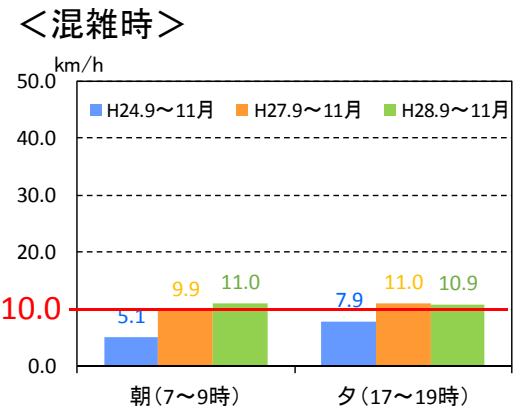
対策概要: 連続立体交差事業により、踏切を除却
(対策実施年: H26.9)



【現地写真】

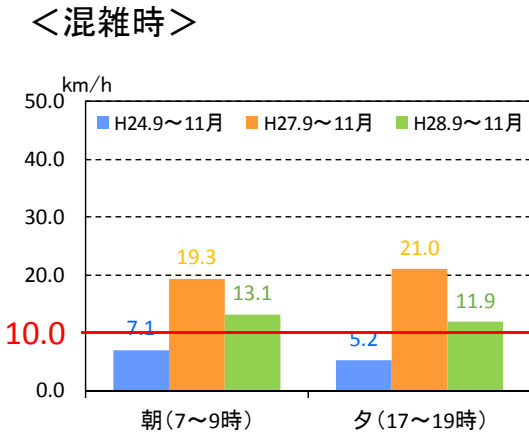


○方向1



H28年は混雑時速度10.0km/hを超えている

○方向2



H27年、H28年は混雑時速度10.0km/hを超えている